

### 3 人工呼吸器関係の事例 ～呼気弁の接続について～

#### 発生時の状況と経過

- ・14:20 に下校予定であったため、5 分前の 14:15 に呼吸器回路の蛇管の水払いを行った。直後に呼吸器のアラームが鳴ったため、確認すると、VTI が 700ml で上限アラームが鳴ったことが分かった。SpO<sub>2</sub> 70% まで低下した。
- ・回路を確認すると、呼気弁が回路から外れていた。

#### 発生時の対応と処置

- ・すぐに応援要請、本人への声掛けをする。
- ・すぐにアンビューを実施、酸素投与を開始(1ℓ～2ℓ)して SpO<sub>2</sub> 96～99% に上昇した。回路から呼気弁が外れていたため取り付けた。
- ・14:25 保護者到着後は、保護者がアンビューを実施し、酸素投与は中止した。保護者の判断にて、アンビューから呼吸器に付け替えた。下校後、体調に変化はなかった。受診なし。



#### 考えられる原因や背景

- ・看護師と担任が、保護者に直接状況と経過を伝え、回路接続外れの発見が遅れたことを謝罪すると、保護者は、「今朝は自分も、呼気弁の所まで確認していなかったかもしれない。」と言われた。SpO<sub>2</sub> 低下等については、「早めに対応してもらえたので良かった。」と言われた。
- ・登校時から、もしくは蛇管の水払いなどにより、呼気弁部分が外れやすくなっていた可能性がある。登校時に回路の外れやすい部分の確認を行っているが、呼気弁部分は今まで確認をしていなかった。水滴がつくため紙オムツで包んであり、中が見えないため外れていることに気づきにくかった。

#### 再発防止に向けた対策・改善点

- ・水払いの前に、回路がしっかり接続されているか確認する。
- ・保護者と看護師で、回路の外れやすい部分を再確認した。
- ・回路の外れやすい部分を写真に撮り、看護師間で再確認する。
- ・登校後は、紙おむつは開けた状態にし、呼気弁が見えるようにする。
- ・ベッドに降りた際は、呼気弁をくるんでいる紙オムツを開放し、外れていないか見て確認できるようにする。

#### ポイント！

- 回路の水払いの時は、回路トラブルが一番多い時です。
- 回路の水払いは回路を引っ張ることもあるので慎重にしましょう。
- アラームが鳴るのは、回路の接続に異常があることが多いので回路の全てをすぐに点検しましょう